

アジアの健康長寿へ

アジアの健康長寿をめざす地域老年医療研究教育拠点の構築

日本は今、世界一の長寿国です。しかし、少子高齢化の波は高齢者医療への負担を非常に大きなものとしています。最近、韓国でこれまでの日本以上のスピードで少子高齢化が加速し、また巨大な人口大国の中国では近い将来、高齢者の増加と医療負担の増大に直面することになります。

長崎大学医学部にはカロリー制限を含めた栄養代謝制御からの老化制御の研究、脳の老化や神経変性、そして種々の寿命制御遺伝子の研究で日本を、また世界をリードしてきました。長崎は日本の最西端にあって、古くから東アジアの近隣国や世界に開けた町でした。この地の利を生かして、今、長崎大学では医学部を中心にアジアの健康長寿へ向けた老化研究と教育の中核となるべく新しいプロジェクトが動いています。日本学術振興会の「アジア研究教育拠点事業」の支援を受けて平成22年度から5カ年計画で「アジアの健康長寿をめざす地域老年医療研究教育拠点の構築」というテーマの元に、韓国のソウル国立大学、ハーリム大学、プサン国立大学等との連携し、老化・寿命研究と高齢者医療の教育への新たな拠点を構築しようというものです。本事業により、長崎大学が日本の、また東アジアの老化研究教育の拠点となれるよう、また一人でも多くの優秀な老化研究者、高齢者医療従事者を育てていけるよう努力して参ります。皆さまのご支援、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

長崎大学（学長：片峰 茂）

日本側コーディネーター：長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 森 望

韓国側コーディネーター：国立ソウル大学校医学部老年学研究センター Prof. Sang Chul Park

何故、このプロジェクトが必要なのか、その背景にあるもの

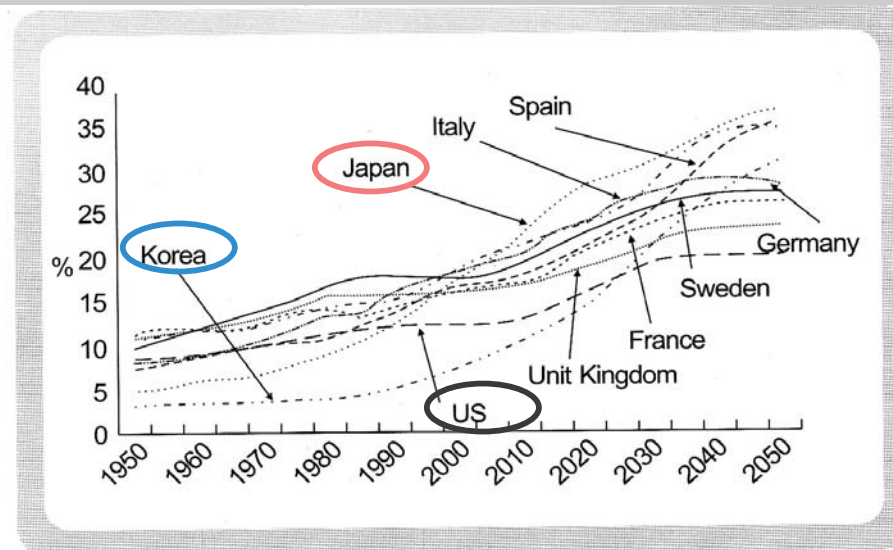
日本は世界の最長寿国であり、韓国はそれを急激な勢いで追随しています

長寿化の速度
(65歳以上の割合)

Table 5 The Speed of Population Aging in Selected Countries

	Year			Duration	
	7%	14%	20%	7 → 14%	14 → 20%
Korea	2000	2019	2026	19	7
Japan	1970	1994	2006	24	12
Germany	1932	1972	2012	40	40
England	1929	1976	2021	47	45
Italy	1927	1988	2007	61	19
USA	1942	2013	2028	71	15
France	1864	1979	2020	115	41

両国の「老化研究」（特に「老化制御研究」）は大変重要な国家的課題です

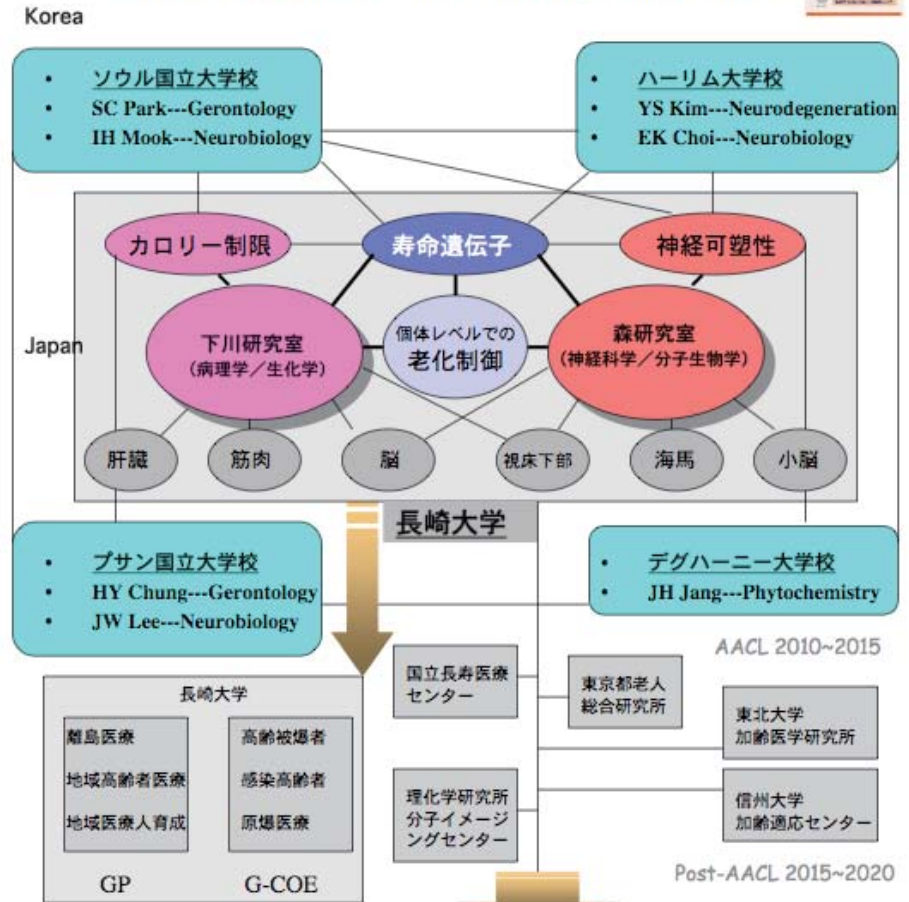


アジアの老化研究は日本がイニシアチブを取るべき立場にあるのです

「アジアの健康長寿をめざす地域老年医療研究教育拠点の構築」

医学部の神経形態学（第一解剖）と探索病理学（第一病理）の教室を中心に栄養代謝と脳の観点から個体老化の制御機構の研究を進めます。研究に関しては、韓国のソウル国立大学、ハーリム大学、プサン国立大学等との連携の元、さまざまな共同研究を展開し、研究者、学生の研究交流も進めます。教育上は地域高齢者医療についてこれまで長崎大学が培ってきた離島医療、原爆医療をふまえて、地域高齢者医療の実施に必要な教育を考案してゆきます。将来的には、日本国内の他の老化研究機関と連携してより大きなアジアの健康長寿をめざす老化研究教育拠点の中核となるよう努力します。

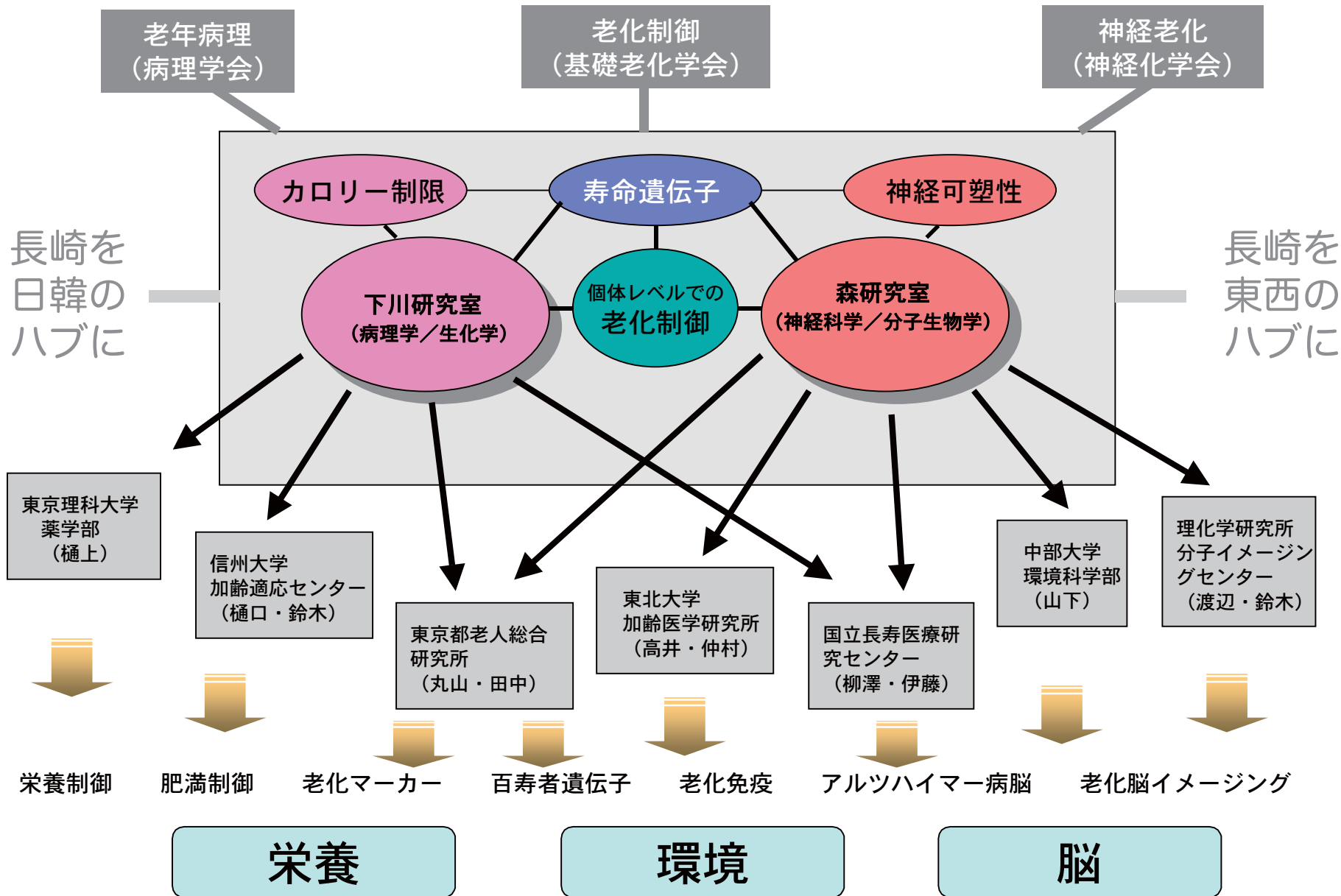
老化制御・寿命制御の分子基盤研究と老年医療教育体系の確立へ向けて



研究上はカロリー制限と脳神経可塑性の分子機構から老化制御の方策を見だし、日韓の老化に関する共同研究を推進する。教育上は、若手研究者と学生交流を支援し、東アジアにおける老年医療教育を協力的に推進する。世界的視野で高齢者の健やかな生活を支援するとともに、将来をにう老化の分野での若手研究者を育てる。

老化の分子的理解から健康長寿へ：アジアの老人を守る

長崎大学医学部の研究室を中心に国内の老化関連研究機関とも連携をとりつつ日本における老化研究をリードしてゆきます



韓国側の連携拠点

서울대학교 노화·고령 사회연구소
SNU Institute on Aging

연구소소개 | 연구사업 | 연구소활동 | 연구원소개 | 자료실 | 관련사이트 | 정수과학 최고지도자과정 | 제3기 인생대학

당/신/의 윤락하고 건강한삶
노화·고령 사회연구소가 준비해 드립니다

노화·고령사회 연구소원?

서울대학교 노화·고령 사회 연구소는 고령사회 대응을 위한 선도적 종합 학술 연구 기관입니다

서울대학교 노화및세노사범연구소센터

연구주요분야
기초노화연구부터
장수문화사업까지

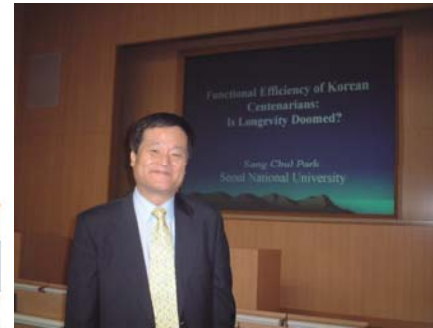
학술교류협정 체결현황
노화·고령 사회연구소
학술 교류협정 체결현황 안내

포토앨범 PHOTO ALBUM

서울대학교 노화·고령 사회연구소
SNU Institute on Aging

관악 캠퍼스 : 151-740 서울특별시 관악구 신림동 산 56-1 서울대학교 교수종합 연구동 (150동) 2층 214호
Tel. (02) 880-2511~2 Fax. (02) 896-8782
연건 캠퍼스 : 서울특별시 용문구 불운동 199-1번지 서울대학교 의과대학 분관 102호
Tel. (02) 740-8503 Fax. (02) 742-0520 isa@snui.ac.kr

오늘 : 167
전체 : 103,530

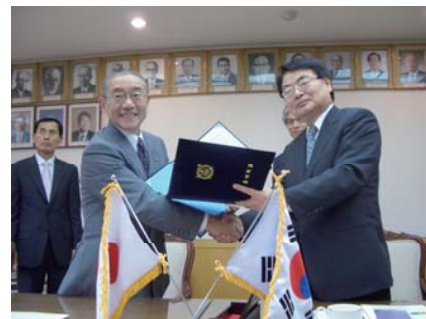


Prof. Sang Chul Park
(Seoul National University)



Prof. Yong-Sun Kim (右)
(Hallym University)

韓国の連携拠点となるソウル国立大学、ハーリム大学、プサン国立大学とは2007年の5月から9月にかけて学術交流協定を締結しており、単位互換を含めた学生交流を進め、また大学間での合同シンポジウムを開催し共同研究の展開等を進めています。



(A) 共同研究・研究者交流

(B) セミナー等学会会合の開催

[平成22年度]
2010

共同研究A-森/JH Jang: 神経老化への漢方成分の効果(カテキン) (適時共同研究推進のため派遣)
共同研究B-森/YS Kim, EK Choi: 老年性神経変性機構 (学生交流を継続。必要に応じて研究者派遣)
共同研究C-下川/SC Park: 加齢性筋萎縮の分子機構 (適時共同研究推進のため学生、若手派遣)
共同研究D-下川/HY Chung: カロリー制限動物の代謝変動 (大学院生派遣を継続)
共同研究 他-----必要に応じて適時実施

○AACLコア会議/韓国老化学会
(チュンチョン) (5月)
○AACLサマースクール(長崎) (8~9月)
○AACL第3回シンポジウム(チェジュ) (7~8月)
○第3回長崎ハーリム大学合同シンポジウム/
基礎老化学会シンポジウム (長崎) (11月)

[平成23年度]
2011

共同研究A-森/JH Jang: 神経老化への漢方成分の効果(ギンセング) (適時共同研究推進のため派遣)
共同研究B-森/YS Kim, EK Choi: 老年性オートファジー (学生交流を継続。必要に応じて研究者派遣)
共同研究C-下川/SC Park: 加齢性筋萎縮の分子機構 (適時共同研究推進のため学生、若手派遣)
共同研究D-下川/HY Chung: カロリー制限動物の組織選択性代謝変動 (大学院生派遣を継続)
共同研究 他-----必要に応じて適時実施

○AACLコア会議/(日本老年医学会)
(神戸または大阪) (5~6月)
○AACLサマースクール
(長崎) (7~8月)
○(AACLコア会議)/アジアオセアニア老年学会
(開催未定) (メルボルン) (10月)

[平成24年度]
2012

共同研究A-森/JH Jang: 神経老化への漢方成分の効果(ルテオリン) (適時共同研究推進のため派遣)
共同研究B-森/YS Kim, EK Choi: 老廃物除去と神経変性 (学生交流を継続。必要に応じて研究者派遣)
共同研究C-下川/SC Park: 平滑筋と骨格筋の萎縮変動 (適時共同研究推進のため学生、若手派遣)
共同研究D-下川/HY Chung: 老若動物でのカロリー制限の効果の比較 (大学院生派遣を継続)
共同研究 他-----必要に応じて適時実施

○AACLコア会議/韓国老化学会
(開催地未定) (5月)
○AACLサマースクール/第4回シンポジウム
(長崎) (7~8月)
○第5回長崎ハーリム大学合同シンポジウム
(長崎) (10~11月)

[平成25年度]
2013

共同研究A-森/JH Jang: 神経老化への漢方成分の効果(総合比較) (適時共同研究推進のため派遣)
共同研究B-森/YS Kim, EK Choi: カルシウム代謝変動 (学生交流を継続。必要に応じて研究者派遣)
共同研究C-下川/SC Park: 筋萎縮と個体老化の関係 (適時共同研究推進のため学生、若手派遣)
共同研究D-下川/HY Chung: 老若動物でのカロリー制限の効果の比較 (大学院生派遣を継続)
共同研究 他-----必要に応じて適時実施

○AACLサテライトシンポジウム/国際老年学会
(第5回シンポジウム) (ソウル) (6月)
○AACLサマースクール
(長崎) (7~8月)
○AACLコア会議
(長崎) (10~11月)



[平成26年度]
2014

共同研究A-森/JH Jang: 漢方成分による老化神経保護の分子機構 (適時共同研究推進のため派遣)
共同研究B-森/YS Kim, EK Choi: 老廃物除去と神経変性 (学生交流を継続。必要に応じて研究者派遣)
共同研究C-下川/SC Park: 細胞老化と個体老化の関係 (適時共同研究推進のため学生、若手派遣)
共同研究D-下川/HY Chung: カロリー制限動物の組織バンクの形成と活用 (大学院生派遣を継続)
共同研究 他-----必要に応じて適時実施

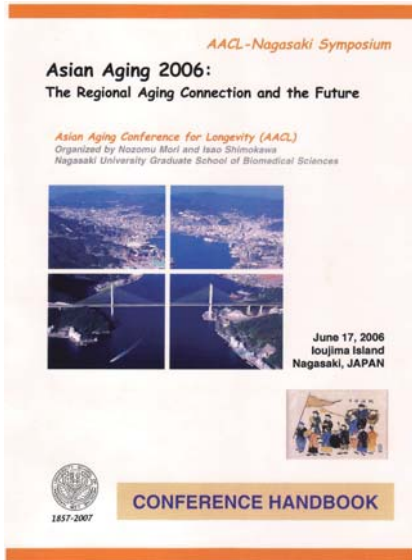
○AACLコア会議/韓国老化学会
(開催地未定) (5月)
○AACLサマースクール/第6回シンポジウム
(福岡/長崎) (7~8月)
○第7回長崎ハーリム大学合同シンポジウム
○AACLコア会議(総括会議) (長崎) (10~11月)

○コア会議: 拠点および連携機関の代表者による方針会議/意見交換。老化関連学会の開催に併せる。

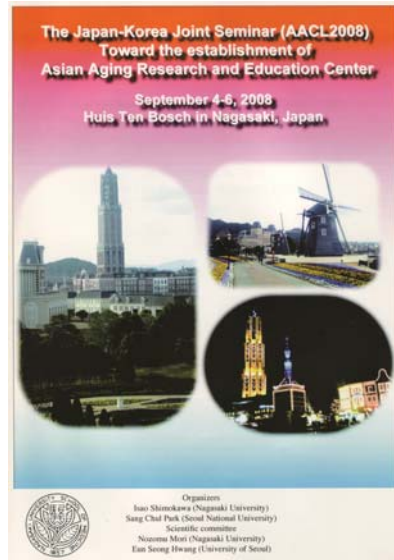
○サマースクール: 若手教育のための集中講義。2泊3日程度の合宿性。基本的に長崎で夏に開催。全国から20~30名を公募予定。

○シンポジウム: AAAL研究活動の最も重要な研究発表と討議の場。老化関係の他機関からも招聘。原則公開とする。

○長崎ハーリム大学合同シンポジウム: 二大学間で脳老化と神経変性を主に毎年交互に開催するもの。協定による学生交流の時期に合わせる。



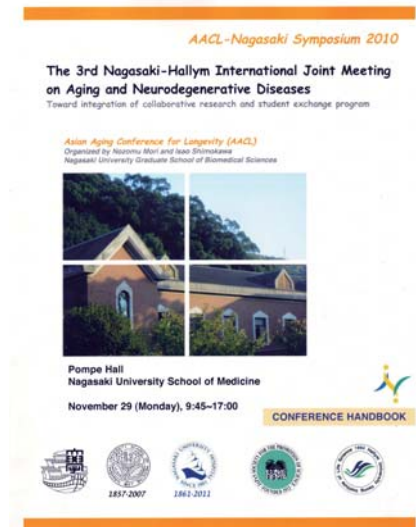
第1回AACL (June, 2006)



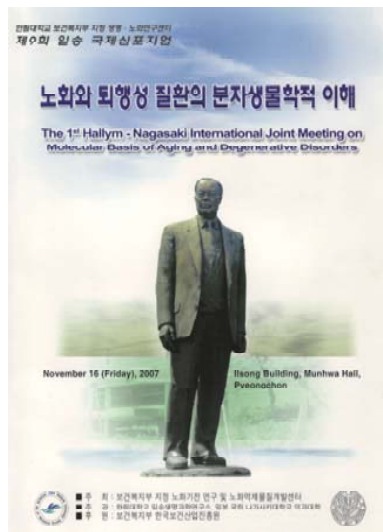
第2回AACL (Sept, 2008)



ソウル国立大学シンポジウム (May, 2010)



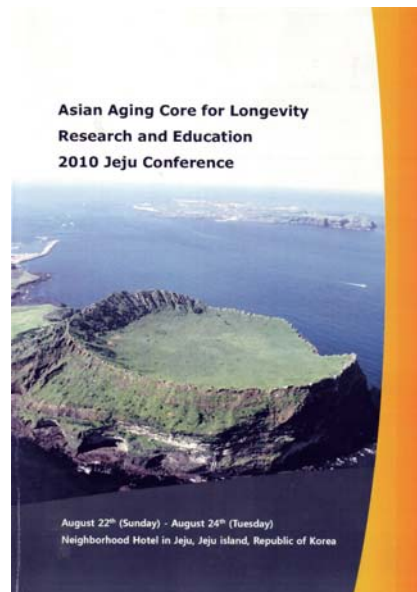
第3回Nagasaki-Hallym Symp (Nov, 2010)



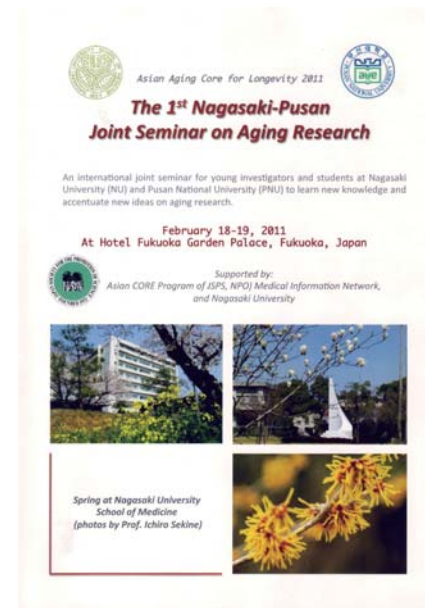
第1回Nagasaki-Hallym Symp (Nov, 2007)



日韓老化学会合同シンポジウム (July, 2010)



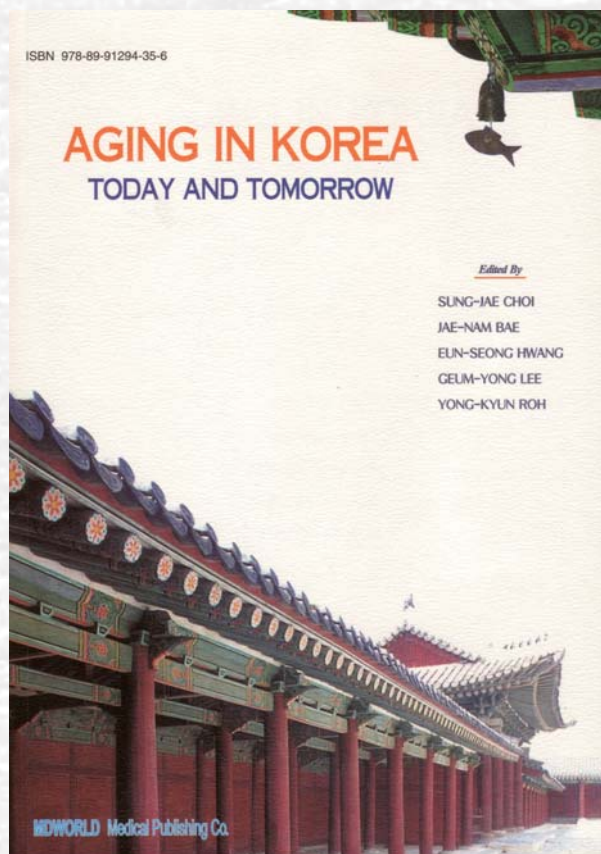
第3回AACL (Aug, 2010)



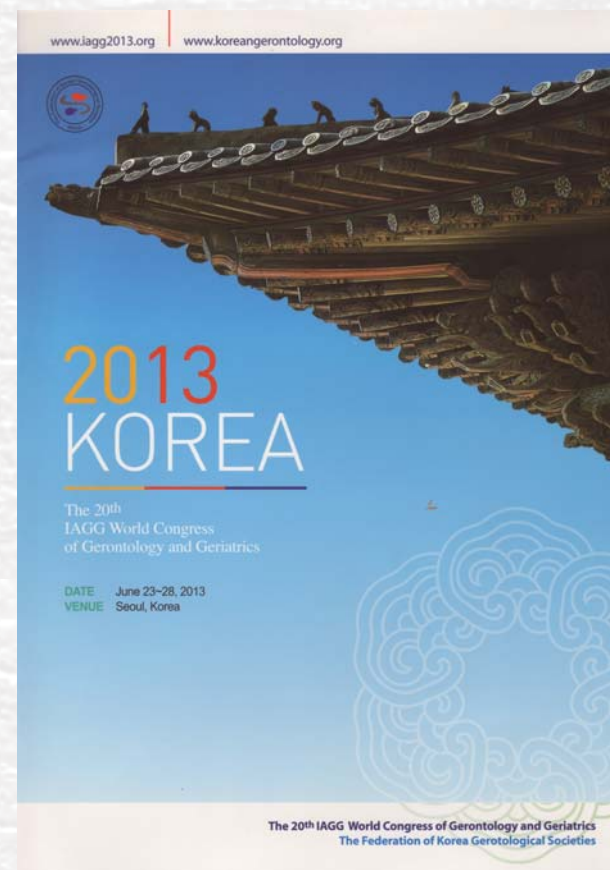
ソウル国立大学シンポジウム (May, 2010)

第2回Nagasaki-Hallym Symp (Feb, 2009)

老化／老年病分野でのアジア連携



次回の国際老年学会は2013年6月に韓国のソウル市で開催予定です。私たちはこの国際会議の場で、日韓連携による老化／老年病分野でのアジア研究教育拠点事業の共同研究成果を公開できるよう努力します。



Asian Aging Core for Longevity

期待される成果

韓国

国立ソウル大学
ソウル大学
ヨンセイ大学
ハーリム大学
プサン大学

AACL project

国際共同研究の推進
学術集会の開催

研究強化
若手人材育成
研究費の効率化
人材交流・文化交流

日本

長崎大学医学部
東北大学加齢医学研究所
東京都老人総合研究所
国立長寿医療センター
京都大学東南アジア研究所
日本基礎老化学会

学術的側面

老化制御の分子基盤
老年病研究

社会貢献

アンチエイジング
老年医療改革

若手人材養成

老化研究者
老年医療従事者

先端学術情報

アジアの人口動態
都市と地域の老年医療



Asian Aging Core for Longevity

アジアの健康長寿へ

アジアの健康長寿をめざす地域老年医療教育拠点の構築

老化の分子的理解から健康長寿へ：アジアの老人を守る

ソウル国立大学 (Prof. Park)

プサン国立大学 (Prof. Chung)

ハーリム大学 (Prof. Kim)

ケイミョン大学 (Prof. Jang)

長崎大学・医学部

(大学院・医歯薬学総合研究科)



Asian Aging Core for Longevity

平成22年度採択 アジア研究教育拠点事業（日本学術振興会）

拠点機関：長崎大学（日本）、ソウル国立大学（韓国）

日本側コーディネーター：長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 森 望

韓国側コーディネーター：国立ソウル大学校医学部老年学研究センター Prof. Sang Chul Park

研究交流課題名：アジアの健康長寿をめざす老化制御研究と地域老年医療教育拠点の構築

日本の西端に位置する長崎大学を中心に東アジアの健康長寿へ向けた国際的な研究教育拠点を構築することをめざします。「老化」や「老年病」に関して、研究、教育、若手育成など関心のある方の参画を歓迎いたします。ご質問等は下記へお寄せ下さい。

日本側代表：森望（長崎大学医学部神経形態学（第一解剖）教授

事務局：長崎大学医学部神経形態学（第一解剖）

電話：095-819-7019 ファックス：819-7017 電子メール：morinosm@nagasaki-u.ac.jp